

平成31年3月13日

那須烏山市議会議長 沼田邦彦 様

総務企画常任委員会委員長 小堀道和

予算審査結果報告書

本委員会に平成31年3月5日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

1 審査期日

平成31年3月6日（水）及び7日（木）

2 審査場所

那須烏山市役所 南那須庁舎 第一委員会室

3 出席委員

小堀道和、興野一美、堀江清一、矢板清枝、高田悦男

4 説明のための出席者

会計管理者兼会計課長 滝田勝幸、総合政策課長 石川浩、まちづくり課長 佐藤博樹、総務課長 福田守、税務課長 水上和明、議会事務局長 大谷啓夫 他関係職員

5 審査事項

本委員会の所管する総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会の平成31年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出予算

6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の予算については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

総合政策課

- ・地方債の発行に際し、普通交付税算入のある有利なものを優先するとともに、一般会

計の地方債残高の減少に向けて発行額を抑制されている。今後も引き続き将来負担を考慮し、残高減少に向け努力されたい。

- ・公共施設等マネジメントシステムは、市内での利用にとどまらず、得られる情報を積極的に公表し、施設の統廃合等が市民理解のもと進められるよう有効活用されたい。
- ・ふるさと応援寄付金制度については、制度の趣旨を踏まえ、本市の特徴を生かした魅力ある返礼品を検討し、自主財源の確保に努めていただきたい。

まちづくり課

- ・デマンド交通のコールセンターの運営方法や運行の広域化、市営バスの路線等、公共交通のあり方を今後も検討されたい。お囃子を JR 烏山線の発車予告メロディーにすることを新たに計画されたが、今後も全国から注目されるようなアイデアを出し合い、職員自身も、明るく元気に本市のまちづくりに取り組まされたい。
- ・空き家と農地を合わせて提供する等、定住希望者のニーズに合わせた対応ができるよう関係課と連携するとともに、定住者に寄り添った対応を心掛けられたい。チラシ配布等の PR は、東京以外にもエリアを広げ、さらなる希望者増を図られたい。
- ・地域おこし協力隊については、隊員の市内定住に向けた支援を強化するとともに、市のビジョンを明確にし、その目標達成のために特化した隊員の採用に努められたい。

総務課

- ・南那須地区の防災行政無線廃止に伴い、市民に周知徹底を図られたい。これに代わる新たな情報伝達手段として携帯電話、スマートフォンのアプリを活用するシステムを構築中だが、高齢者世帯等に受信機を配付する際は、使用方法の説明等、丁寧な対応をし、民生委員や地域との連携を図って実効性の高い仕組みとなるよう努められたい。また、防災意識の向上を図りアプリの登録も促進されたい。さらに、ハザードマップについても、市民に危機意識を持ってもらえるよう各地区で説明を実施されたい。
- ・代休取得が難しい時期もあると思うが、働き方改革の一環として休暇取得をしやすい環境づくりが大切である。また、男性職員による育児短時間勤務実施の実績は男女共同参画の観点からも好事例であり、今後も働きやすい職場環境づくりに努められたい。
- ・市内一斉しば焼きを実施する際は、農政部門と連携し、火災等の事故防止に努めるとともに、事故発生時の対応や保険の内容について自治会長等に周知徹底を図られたい。

税務課

- ・固定資産税における大口滞納については、国や県との連携をさらに強化し、早期の解決に向け最大限の努力を期待する。収納率向上に向け、市単独での家宅搜索やインターネット公売などにも取り組まれているが、納税者のためにも、滞納がふくらまないよう早期の対応を心掛けられたい。
- ・税務課窓口における口座振替申請受付を開始したほか、スマートフォンなどのアプリからの納付開始を予定するなど、納付環境の整備に努められている。督促状でのコンビニ納付など、今後も納付環境の整備を検討されたい。